

2019年 2月27日

*Providing
Total Packaging
Solutions*

OHISHI SANGYO CO., LTD.

福証IRフェア ご説明資料

OSK 大石産業株式会社

証券コード：3943



『包む』ことは文化

先人の知恵、心配り、技術が
織りなす歴史ある文化です。
我々はお客様の製品が無事に
届けられるように、
包装資材の総合メーカーとして、
【ロジスティクスに最適解を】
グローバルに提供する。
これが我々の使命です。



需要家のために

品質、納期、価格で信頼をつくりあげます

社員のために

働くことに希望と、よい待遇で報います

社会のために

環境保全を通じて社会に貢献します

投資家のために

安定した業績と成長で、期待に応えます



大石産業のご紹介

事業内容

主要連結財務データ

配当方針、配当関係の各指標の推移

株主優待

今後の展開と将来の目標

創業	大正14年（創業95年目）
設立	昭和22年
資本金	4億66百万円（福岡証券取引所 上場）
従業員	514名（グループ）
売上高	183億円（平成30年3月期・連結）
本社所在地	北九州市八幡東区
生産拠点	福岡県（鞍手、直方、小倉）、茨城県（北茨城） 青森県（八戸）、マレーシア（ジョホール州）
営業拠点	東京、大阪、八戸、北海道、茨城、九州各地 シンガポール
営業品目	包装容器及び各種資材の製造、販売 （パルプモールド、フィルム、重包装袋、段ボール、その他）
グループ会社	CORE PAX (M)、ENCORE LAMI、株式会社アクシス ワイケーパッケージング株式会社（持分法適用関連会社）

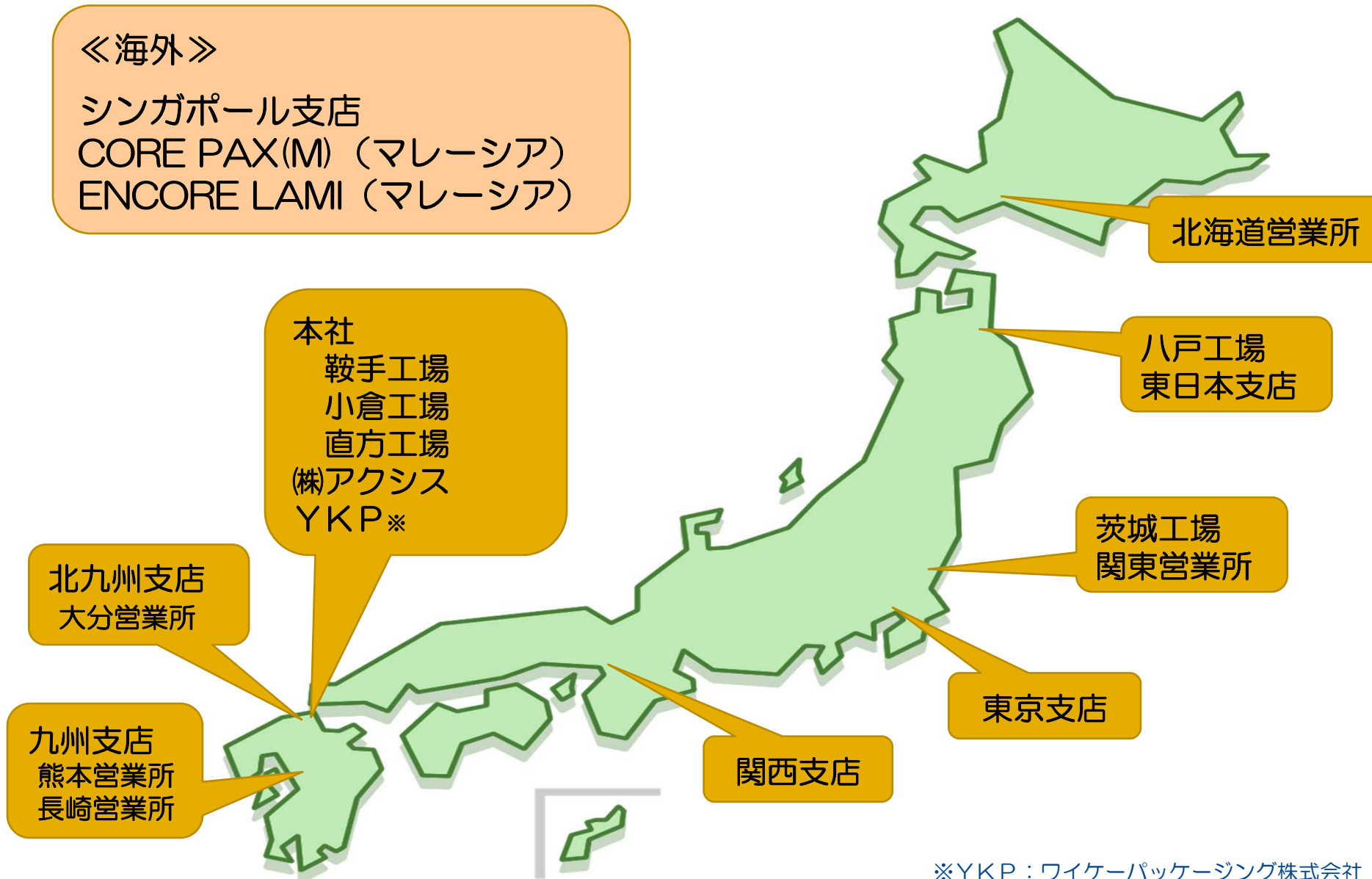
大石産業の沿革 ～ 創業から上場、そして海外へ

OSK

- 1925年（大正14年） 大石伊太郎、福岡県八幡市にて大石商店 創業
藁工品・麻袋製品の販売
- 1947年（昭和22年） 株式会社大石商店設立 スコップ等の製造・販売を開始
- 1949年（昭和24年） 紙袋製品 製造・販売を開始
- 1953年（昭和28年） 段ボール製品 製造・販売を開始
- 1963年（昭和38年） 鞍手モウルド株式会社設立
パルプモウルド製品の製造・販売を開始
- 1967年（昭和42年） 樹脂袋の製造・販売を開始
- 1975年（昭和50年） 青森県に パルプモウルド工場 建設
- 1976年（昭和51年） 福岡県に ポリスチレンフィルム工場 開業
- 1980年（昭和55年） 福岡証券取引所に株式上場
- 1986年（昭和61年） 北九州市に株式会社アクシス設立（情報機器販売・システム開発）
- 1990年（平成2年） マレーシアに CORE PAX (M) SDN.BHD. 設立
大型クラフト紙袋の海外生産を開始
シンガポールに シンガポール営業所 開設
- 1996年（平成8年） 茨城県に パルプモウルド工場 建設
- 2004年（平成16年） 茨城県に フィルム工場 建設
- 2013年（平成25年） マレーシアに ENCORE LAMI SDN.BHD. 設立
- 2016年（平成28年） 北九州市に ワイケーパッケージング株式会社 設立
（平川産業株式会社との合併による、樹脂袋の共同生産）

《海外》

シンガポール支店
CORE PAX(M) (マレーシア)
ENCORE LAMI (マレーシア)



※YKP：ワイケーパッケージング株式会社

【 包装容器及び各種資材の製造、販売 】



※数字は売上金額

こんなところにOSK

スーパーマーケット



小麦粉用紙袋

鶏卵容器

食品容器の蓋材

カップ麺容器

食品容器トレー

段ボール

トマトトレー

メロントレー

魚函用ラベル

こんなところにOSK

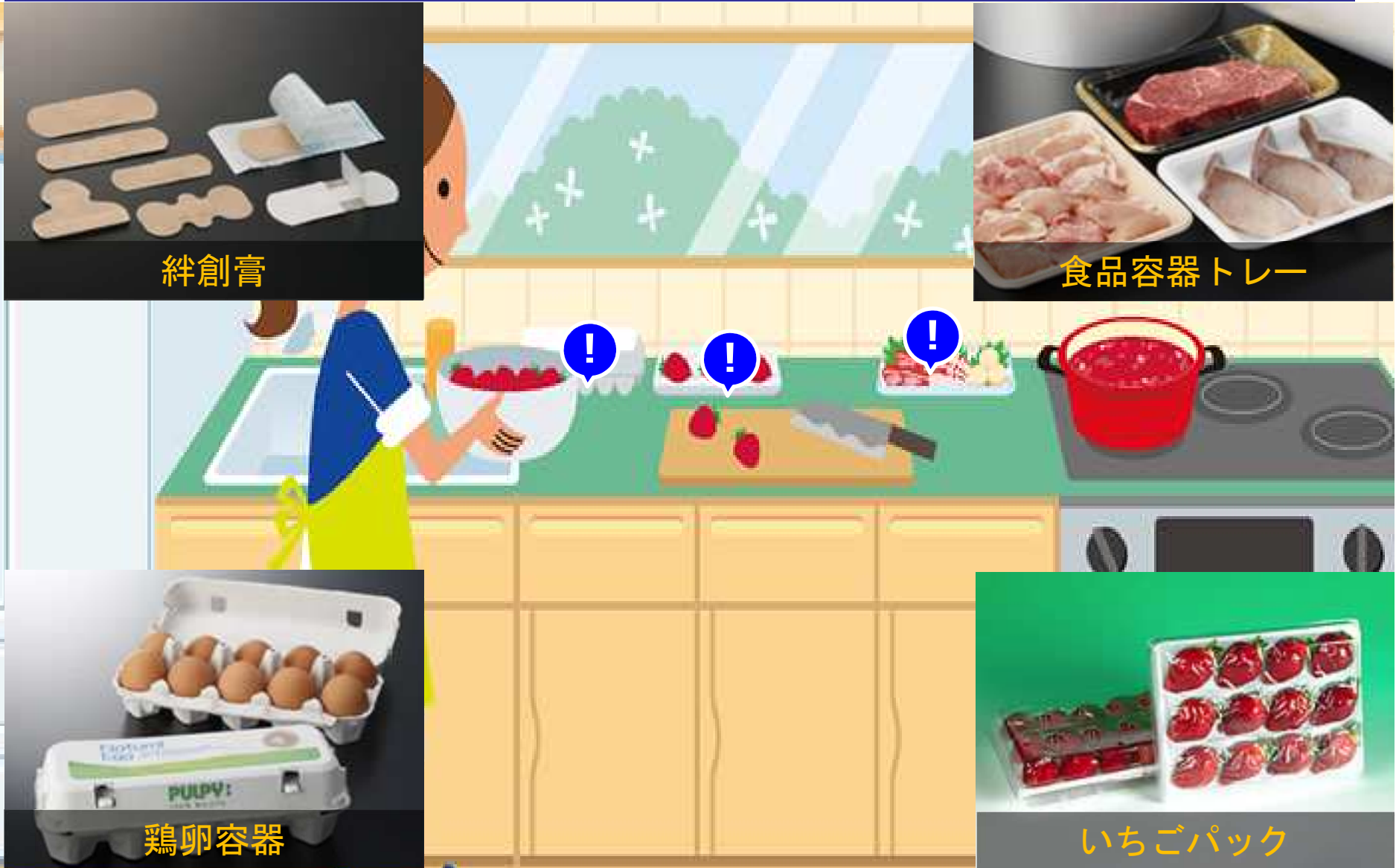
キッチン



絆創膏



食品容器トレー



鶏卵容器



いちごパック

こんなところにOSK

農場



肥料用袋



自動車部品材料



飼料用袋



育苗用ポット



りんごトレー



鶏卵トレー

環境に配慮した包装

PULP MOULD

パルプモールド事業

主原料は古紙!

<パルプモールドとは>

- ◆古紙を主原料とする資源循環型資材で環境負荷軽減に貢献
- ◆通気性、吸湿性に富み、鮮度保持に優れる
- ◆緩衝性が高く、保護機能を発揮
- ◆複雑な立体成形が可能で、包装作業の単純化・自動化に有効

パルプモールド事業

環境に配慮した包装

- ◆ 福岡・茨城・青森に3工場（生産開始1963年）
- ◆ 国内シェアナンバー1
- ◆ 用途：りんごトレイ、メロントレー、トマトトレイ、
鶏卵トレイ、卵パック、人工透析ダイアライザー、
ドリンクキャリア、プリンタカートリッジ等の緩衝機能包装材



様々な可能性の探求

PLASTIC FILM



フィルム事業

<フィルムとは>

- ◆各種合成樹脂を薄い膜状に製膜したもの
- ◆機能性・加工性に優れ、様々な分野の製品に利用されている
- ◆コンビニ、スーパーなどの食品容器向けに需要が伸びている
- ◆耐熱性などの機能性向上を求めて開発を進めている事業である
- ◆環境に優しい「**生分解性プラスチック**」も開発している

- ◆福岡、茨城に2工場（生産開始1976年）
- ◆ポリスチレンフィルム熱ラミネーション分野で
国内シェアナンバー1
- ◆用途：食品トレー装飾用基材、医療品用基材、
容器蓋材用接着フィルム等
- ◆食品トレー成型事業開始（2018年）
中食市場の拡大で当社フィルム・トレー需要増



HEAVY
DUTY BAG



重包装袋事業

<重包装袋とは>

- ◆クラフト紙2～4層で構成される産業資材包装用の袋
- ◆20～40キロの内容物を入れることができる
- ◆昭和初期、麻袋や木箱から代替

重包装袋事業

徹底した品質管理

- ◆福岡・マレーシアに4工場（生産開始1949年）
（小倉、CPM、ECL、YKP）
- ◆業界で最初に**海外進出**（1985年）
- ◆用途：小麦粉等食品、合成樹脂、化学品等
- ◆CPMにおいて、**ISO22000**、**ハラール認証**を取得
ハラール認証機関：JAKIM（Jabatan Kemajuan Islam Malaysia）
- ◆アセアン地域の発展とともに、
今後成長が期待される





CORRUGATED BOARD



段ボール事業

福岡（直方市）に工場（生産開始1953年）

<段ボールとは>

- ◆板紙（ライナー）と中芯（波状）を貼り合わせ加工したもの
- ◆軽さと強度を持ち合わせる
- ◆全包装資材の20%を占める EC（電子商取引）普及で需要増
- ◆段ボールの国内リサイクル率は95%以上

製品開発

- ◆従来とは違う発想、角度から新市場、新需要の開拓と環境に配慮した製品、商品の開発を行なっている
- ◆2015年日本パッケージングコンテスト出品以来、4年連続受賞

2015日本パッケージングコンテスト受賞



ゆりかごCタイプ

「ジャパンスター賞（日本貿易振興機構（JETRO）理事長賞）」



鑄鉄管用キャップ

「包装技術賞（包装アイデア賞）」

製品開発

2016日本パッケージングコンテスト受賞

トマトLsトレー 「輸送包装部門賞」

梱包寸法短縮（当社比58%減）
トレー軽量化（当社比25%減）



2017日本パッケージングコンテスト受賞

折りたたみ携帯用バッグインボックス 「たたむくん」

「日用品・雑貨包装部門賞」

藤森工業株式会社様との共同開発



製品開発

2018日本パッケージングコンテスト受賞

パルピー10H
手提げ燻製BOX
「輸送包装部門賞」



FSC®認証取得（加工・流通過程）

ドリンクキャリア

ファストフードチェーンでのご採用実績

FSC®は責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする国際的な非営利団体。FSC®は、環境、社会、経済分野の利害関係者の合意によって支持された、責任ある森林管理の原則に基づく規格を定めている。



責任ある森林管理
のマーク

主要連結財務データ

OSK

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期 (見込)
売上高 (百万円)	18,030	17,864	17,945	17,264	18,367	18,800
営業利益 (百万円)	728	574	1,103	1,377	1,079	870
経常利益 (百万円)	944	797	1,323	1,533	1,250	1,050
当期純利益 (百万円)	601	505	963	1,076	906	660
総資産 (百万円)	18,359	18,897	18,753	20,007	21,033	21,300
純資産 (百万円)	10,524	11,319	11,627	12,593	13,478	13,550
1株当たり 純利益 (円)	146.95	126.01	240.33	268.54	226.03	166.74
1株当たり 純資産 (円)	2,619.95	2,821.81	2,897.68	3,137.84	3,356.88	3,493.87

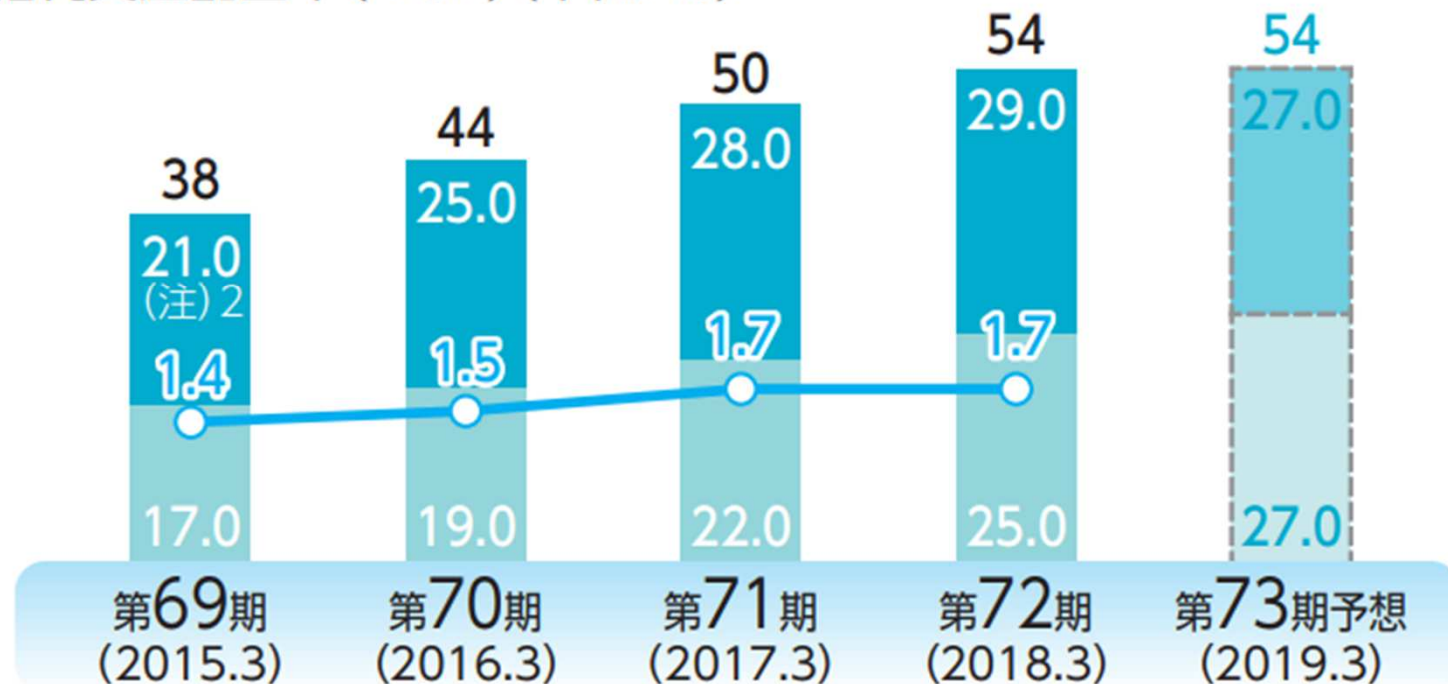
(注) 当社は2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っています。2014年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しています。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

配当方針、配当関係の各指標の推移

当社グループは、生産性の向上等による利益体質の強化を図りながら、将来の事業展開に備えた内部留保を確保しつつ、連結純資産配当率（DOE）1.5%以上を目安に、安定的に配当を実施する方針としております。

1株当たり配当金 (■ 期末配当 ■ 中間配当) (単位:円)

○ 連結純資産配当率 (DOE) (単位:%)



(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、このたび株主優待制度を再導入いたしました。



<対象となる株主様>

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上を保有する株主様を対象といたします。

<優待内容>

保有株式数	優待内容
100株以上1,000株未満	当社オリジナルQUOカード 1,000円分
1,000株以上	当社オリジナルQUOカード 3,000円分

<贈呈時期>

毎年、定時株主総会終了後の決議通知等に同封して送付いたします。

- ◆ 創業100周年（2025年）に、売上高300億円
- ◆ アジアを中心に、グローバルに挑戦し続ける企業集団
- ◆ R & Dの推進とM & Aの活用
 - 環境循環型資材としてのパルプモウルトの認知度を高め、新用途開発、新材料開発を進めます
 - 脱プラの流れの中、バイオフィルム製品の開発を通じ、環境親和性の高いビジネスを目指します
 - 国内外においてM & Aを積極的に活用し、事業領域の拡大を目指します
- ◆ 海外事業への積極投資
 - 東南アジア、オセアニアでのマーケティングを強化し、更なる需要開拓を進めます
 - 海外事業の売上高比率を、現在の20%から30%に高めます

『持続可能な開発目標』のために

SDGs …… 持続可能な開発のための2030アジェンダ

CLOMA …… クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス

国連による「持続可能な開発目標のための2030アジェンダ」。その目標達成のために、国や各自治体、企業においても活動が始まっています。当社もその趣旨に賛同し、「北九州SDGsクラブ」に加盟しました。また、今年1月 海洋プラスチックごみ問題の解決に取り組む官民横断の新団体 クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス (CLOMA) が設立され、当社も加盟しました。当社は「持続可能な開発目標」達成のため、積極的に行動をしていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



持続可能な開発目標（SDGs） は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に定められた、2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。北九州市は、アジア地域で初めて経済協力開発機構（OECD）から、モデル都市に選ばれました。また、国の「自治体SDGs未来都市モデル事業」にも選出され、地元自治体・企業・団体らが発起人となった「北九州SDGsクラブ」も発足し、活動を始めています。

A silhouette of a sea turtle swimming in clear blue water towards a bright sunburst at the surface. The sunburst is a large, bright white circle with rays of light extending outwards, creating a lens flare effect. The water is a deep blue color with some bubbles visible on the right side. The turtle is in the center of the frame, swimming towards the sunburst.

ご清聴ありがとうございました